

平成15年度研究助成金交付対象者一覧

1. 生命科学関係 (22件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対しての生理活性を有する物質に関する研究

	研究テーマ	氏名	研究機関名
1	概日リズム発現における小分子 RNA と RNAi 関連分子装置の役割	塩見 春彦	徳島大学ゲノム機能研究センター分子機能解析分野
2	脳特異的膜貫通蛋白質 Slitrk ファミリーの神経組織発生および修復における役割の解明とその医療応用	有賀 純	理化学研究所脳科学総合研究センター発生神経生物研究チーム
3	遺伝的不安定性を示すマウスを利用したリンパ腫瘍原因遺伝子の単離	鈴木 健之	京都大学医学研究科先端領域融合医学研究機構がん遺伝グループ
4	IP ₃ 時空間パターンの可視化による小脳プルキンエ細胞長期抑圧現象解明へのアプローチ	廣瀬 謙造	東京大学大学院医学系研究科細胞分子薬理学教室
5	哺乳類精子幹細胞自己複製因子の探索	篠原 隆司	京都大学大学院医学研究科先端領域融合医学研究機構生殖グループ
6	神経幹細胞の可視化及び再生移植医療への応用	大塚 俊之	京都大学ウイルス研究所増殖制御学研究分野
7	低分子化合物と BMP/コラーゲン複合体による新規骨形成治療の開発	伊藤 和幸	大阪府立成人病センター研究所生物学部門
8	新しい脳特異的サイトカイン、シナプトフィリンの研究 - 神経細胞間シナプス連絡の再プログラミングをめざして	柚崎 通介	慶応義塾大学医学部生理学教室
9	ラミニンの生物活性ペプチドの探索と応用	野水 基義	北海道大学大学院地球環境科学研究科生態環境科学専攻資源化科学講座
10	アロマセラピーの神経薬理学的研究	河合 房夫	藤田保健衛生大学医学部生理学
11	APS ノックアウトマウスを用いたインスリンシグナル伝達機構の解明	岸 和弘	徳島大学分子酵素学研究センター分子遺伝学部門

(2) 免疫制御機構に関する研究 (老化、免疫低下等を含む)

	研究テーマ	氏名	研究機関名
12	ASK1-MAP キナーゼ系を介する自然免疫のシグナル伝達機構	一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室
13	NKT 細胞のサイトカイン産生調節機構の解析	三宅 幸子	国立精神神経センター神経研究所免疫研究部
14	二本鎖 RNA の認識機構とその細胞応答に及ぼす意義の解明	本田 賢也	東京大学医学部医学系研究科免疫学講座
15	NKT 細胞における癌抑制遺伝子 PTEN の機能解析 ~ 癌免疫監視機構における PTEN の役割 ~	鈴木 聡	秋田大学医学部構造機能医学講座分子医科学分野
16	サイトカインシグナル制御因子 SOCS と自己免疫疾患に関する研究	花田 俊勝	九州大学生体防御医学研究所免疫制御学分野
17	NK 細胞活性化リガンドの同定とその生理的役割の解明	松本 直樹	東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻医薬デザイン工学分野
18	熱ショック転写因子群による免疫システムの制御	中井 彰	山口大学大学院医学研究科生体シグナル解析医学講座
19	低分子量 G 蛋白質 Rab27・Slp 複合体によるマスト細胞特異的ヒスタミン放出機構の解明	福田 光則	理化学研究所福田独立主幹研究ユニット
20	遺伝子変異マウス解析を中心としたリンパ球分化における Runx ファミリーの機能解析	谷内 一郎	九州大学生体防御医学研究所ゲノム機能制御学部門発生工学分野
21	早期老化症候群原因遺伝子産物の機能の解析による老化メカニズムの分子的解明	多田 周右	東北大学大学院薬学研究科生体情報薬学講座遺伝子薬学分野
22	TRAIL/TRAIL 受容体の HTLV-1 発症機構への関与	森 直樹	琉球大学大学院医学研究科感染制御医科学専攻病原生物学分野

2. 薬物科学関係 (13件)

(1) 創薬の研究 (医薬品の開発・評価等を含む)

	研究テーマ	氏名	研究機関名
1	生薬植物成分を起源とする新規高脂血症治療薬の開発	阿部 郁朗	静岡県立大学薬学部生薬学教室

	研究テーマ	氏名	研究機関名
2	スフィンゴミエリンを指標にした動脈硬化の発症機序の解明と診断薬の開発	長谷川 顕子	理化学研究所フロンティア研究システム スフィンゴ脂質機能研究チーム
3	非ヒドロキサム酸系ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の開発研究	鈴木 孝禎	名古屋市立大学大学院薬学研究科薬化学教室
4	生理活性分子の機能解析から抗痴呆症薬の開発へ	山田 麻紀	東京大学大学院薬学系研究科薬品作用学教室
5	オキシステロール受容体として機能する核内レセプター LXR を標的とした植物ステロール誘導体の開発	槇島 誠	大阪大学大学院生命機能研究科個体機能学
6	リンパ球における非神経性コリン作動系の活性に及ぼす細胞内・外のシグナル伝達機構に関する分子薬理学的研究	藤井 健志	共立薬科大学薬学部薬理学教室
7	QT 間隔延長作用を有する非循環器用薬物の催不整脈作用に関するセーフティマージンの検討	杉山 篤	山梨大学大学院医学工学総合研究部薬理学教室
8	感染細胞及び組織を標的化する中空バイオナノ粒子によるウイルス性疾患治療法の開発	黒田 俊一	大阪大学産業科学研究所生体触媒科学研究分野
9	高圧 NMR 法による広い構造空間における蛋白質構造の解析：新しい構造データベース構築に向けて	北原 亮	理化学研究所細胞情報伝達研究室
10	核内受容体の活性制御理論に基づく医薬リード創製	棚谷 綾	東京大学分子細胞生物学研究所生体有機化学研究分野

(2) 薬物動態の研究 (薬力学的研究を含む)

	研究テーマ	氏名	研究機関名
11	生理状態の変化に伴う肝薬物代謝酵素変動機構の解析	吉成 浩一	静岡県立大学薬学部臨床薬理学教室
12	DNA 検出スティックを用いた薬剤反応性遺伝子 SNP 診断法の開発	平塚 真弘	東北薬科大学臨床薬剤学教室
13	核内動態制御を指向した新規遺伝子治療用 DNA の開発	紙谷 浩之	北海道大学大学院薬学研究科薬剤分子設計学分野

3. 情報科学関係 (10件)

(1) 心臓・血管疾患の本態解明に関する研究

	研究テーマ	氏名	研究機関名
1	セカンドメッセンジャーとしての活性酸素種の高特異的蛍光イメージ化	前田 初男	大阪大学大学院薬学研究科分子反応解析学分野
2	動脈硬化における新規の平滑筋遊走調節機構の解明	武城 英明	千葉大学大学院医学研究院臨床遺伝子応用医学
3	血管疾患における骨髄幹細胞動員の意義とその制御	服部 浩一	順天堂大学医学部輸血学教室
4	血小板インテグリンの活性制御機構ー膜貫通ヘリクスの構造変化モデルの検証ー	高木 淳一	大阪大学蛋白質研究所プロテオミクス総合研究センタープロテオーム物質創製研究系
5	新規 Ins(1,4,5)P ₃ 結合性タンパク質、PRIP の心臓・血管機能への関わり	兼松 隆	九州大学大学院歯学研究院口腔常態制御学講座口腔細胞工学
6	ヒトの血管に特徴的な低酸素応答の病態における意義の解明 転写因子 Bach1 によるヘムオキシゲナーゼ-1 の発現抑制について	小川 和宏	東北大学大学院医学系研究科分子薬理学分野
7	致死性不整脈疾患 (先天性 QT 延長症候群、Brugada 症候群) の遺伝子診断と遺伝子型、遺伝子変異、多型別の臨床病態の解明および特異的治療法の開発	清水 渉	国立循環器病センター内科心臓部門

(2) 心臓・血管疾患の治療制御に関する研究

	研究テーマ	氏名	研究機関名
8	心肥大における mammalian Target of Rapamycin(mTOR) の役割	塩井 哲雄	北里大学医学部内科学
9	糖尿病性血管合併症新規治療法の開発 ミトコンドリア再構築・活性化によるミトコンドリア由来活性酸素の制御	西川 武志	熊本大学大学院医学薬学研究部生体機能病態学講座代謝内科学分野
10	臍帯血由来幹細胞を用いた細胞移植/遺伝子ハイブリット治療の難治性循環器疾患への応用	永谷 憲歳	国立循環器病センター内科心臓部門

平成14年度研究助成金交付対象者一覧

1. 生命科学関係(22件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対しての生理活性を有する物質に関する研究

	研究テーマ	氏名	研究機関名
1	生活習慣病の病態に関わる新たな内分泌因子の同定とその医学応用	下村 伊一郎	大阪大学大学院生命機能研究科・医学系研究科病理病態学
2	ミエリン形成におけるABC蛋白質の役割—ノックアウトマウスを用いた機能解析—	稲垣 暢也	秋田大学医学部 生理学第一講座
3	新規がん抑制蛋白質TSLC1の経路の網羅的解析による細胞増殖制御に関する研究	村上 善則	国立がんセンター研究所 がん抑制ゲノム研究プロジェクト
4	遺伝子改変樹状細胞を用いた治療免疫の誘導	菊池 利明	東北大学加齢医学研究所 呼吸器腫瘍研究分野
5	酸化修飾を識別するユビキチン修飾系と神経変性疾患	岩井 一宏	大阪市立大学大学院医学研究科分子制御分野
6	骨髄抑制作用の少ない新種のインターフェロンLinitin：新しい癌治療薬・ウイルス肝炎治療薬としての流動的検討	織谷 健司	大阪大学大学院医学系研究科分子制御内科学
7	染色体機能モジュール形成におけるRNA分子の生物学的意義の探求	齋藤 成昭	久留米大学分子生命科学研究科細胞工学研究部門
8	Oct-3を用いた神経細胞のリプログラミング	岡澤 均	東京都神経科学総合研究所 神経機能分子治療研究部門
9	サイトカインシグナルの制御機構の解明	仲 哲治	大阪大学大学院医学系研究科分子病態内科学講座
10	SOC3ファミリー遺伝子の癌特異的不活性化とその生理活性	吉川 浩英	財団法人癌研究会癌研究所 エピジェネシス発がん研究部
11	早老症ウェルナー症候群の示す細胞老化の原因解明	関 政幸	東北大学大学院薬学研究科 遺伝子薬学分野
12	時期・組織特異的ノックアウトマウス作製・解析による生理活性物質の分泌に関与する分子の機能解析	原田 彰宏	群馬大学生体調節研究所 調節機構部門細胞構造分野

(2) 免疫制御機構に関する研究(老化、免疫低下等を含む)

	研究テーマ	氏名	研究機関名
13	免疫寛容誘導に必要な細胞内シグナル伝達機構の解明	松田 達志	慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室

14	免疫複合体による組織障害に対する、細胞接着分子のin vivo における役割について	佐藤 伸一	金沢大学大学院医学系研究科 血管新生・結合組織代謝学 (皮膚科学)
15	粘膜免疫系制御に重要なM細胞の分子細胞生物学的検討	大野 博司	金沢大学がん研究所 分子薬理学研究分野
16	regulatory樹状細胞を用いた慢性関節リウマチに対する新規免疫治療法の開発とregulatory樹状細胞に発現する抗原特異的T細胞トレランス誘導分子の同定	佐藤 克明	鹿児島大学医学部 医動物学講座
17	I L-7レセプターの発現制御による免疫寛容の成立機構	生田 宏一	京都大学ウイルス研究所 生体防御研究分野
18	Tリンパ球前駆細胞の胸腺移入と胸腺内移動を支配する分子の同定	高浜 洋介	徳島大学ゲノム機能研究センター 遺伝子実験施設
19	新規アダプター分子BCAPの機能発現機序の解明	山崎 哲男	関西医科大学附属肝臓研究所 分子遺伝学部門
20	インターフェロンファミリーによるB細胞アポトーシスメカニズムの解析	松田 正	北海道大学大学院薬学研究科 衛生化学専攻
21	T細胞副刺激分子OX40を介した自己免疫発症機序の解明	石井 直人	東北大学大学院医学系研究科 生体防御学講座免疫学分野
22	免疫グロブリン・抗原受容体シグナルにおけるGab ファミリー分子の機能解析	西田 圭吾	理化学研究所免疫アレルギー科学総合研究センターサイトカインシステム情報制御研究チーム

2. 薬物科学関係 (15件)

(1) 創薬の研究 (医薬品の開発・評価等を含む)

	研究テーマ	氏名	研究機関名
1	難治性炎症性呼吸器疾患の発症機序の解明および新治療法の開発	長瀬 隆英	東京大学医学部老年病学教室
2	新規生理活性ペプチドによる摂食調節機構の解析と代謝性疾患への治療応用に関する研究	伊達 紫	宮崎医科大学医学部第三内科
3	ガン細胞行動様式を制御する新規核内レセプターリガンドの創製	長澤 和夫	東京大学分子細胞生物学研究所 生体有機化学研究分野
4	ヒト血管内皮細胞におけるスフィンゴシン1 リン酸感受性カチオンチャネルの分子同定と作用薬の検索	村木 克彦	名古屋市立大学大学院薬学研究科 細胞分子薬効解析学
5	肝癌細胞における核レセプター機能不全の機序解明とその治療薬の開発	奥野 正隆	岐阜大学医学部消化器病態学 (内科学第1)講座

6	タウ蛋白の不溶化・タンゲル形成を抑制する薬の創薬をめざして	谷口 泰造	神戸大学バイオシグナル研究センター分子薬理講座
7	ヒト肝癌細胞に由来する新規アミノ酸トランスポーターの同定と新しい抗悪性腫瘍薬の分子標的	入部 雄司	杏林大学医学部薬理学教室
8	新規ペプチドベクターを用いたエイズウィルス感染阻止剤の開発	志村 まり	国立国際医療センター研究所難治性疾患研究部
9	アストロサイトの神経栄養因子産生を標的とした脳機能改善薬の開発	小山 豊	大阪大学大学院薬学研究科複合薬物動態学分野
10	リード化合物の新しい評価系としてのショウジョウバエの応用に関する研究	松野 健治	東京理科大学基礎工学部生物工学科細胞生物学教室

(2) 薬物動態の研究 (薬力学的研究を含む)

	研究テーマ	氏名	研究機関名
11	消化器固形癌に特異的に発現している有機アニオントランスポーターLST-2を用いた新規抗癌剤送達系の開発	阿部 高明	東北大学医学部附属病院腎・高血圧・内分泌科
12	薬物性肝障害と核内受容体FXR	宮田 昌明	東北大学大学院薬学研究科薬物動態学分野
13	有機アニオントランスポーターOATPの薬物動態的役割	玉井 郁巳	東京理科大学薬学部生物薬剤学研究室
14	骨髄移植患者の薬物治療における薬物動態制御遺伝子多型診断の医療応用に関する研究	有吉 範高	千葉大学医学部附属病院薬剤部
15	ナノサイズDDSキャリアー頻回投与時に惹起される免疫攪乱機構の解明に関する研究	石田 竜弘	徳島大学薬学部薬剤学教室

3. 情報科学関係 (13件)

(1) 心臓・血管疾患の本態解明に関する研究

	研究テーマ	氏名	研究機関名
1	心肥大誘導酵素ADAM12の活性化シグナル伝達経路の完全解明とシグナル分子の3次元立体構造解析	東山 繁樹	愛媛大学医学部医化学第二教室
2	血管老化におけるテロメア機能の関与	南野 徹	千葉大学大学院医学研究院循環病態医科学
3	心不全の発症・進展にかかわる分子基盤の解明ー転写抑制因子NRSFの役割ー	桑原 宏一郎	京都大学大学院医学研究科臨床病態医科学

4	腎傍系球体装置におけるレニン分泌制御機構：細胞間カルシウムウェーブ (intercellular calcium wave) の関与	姚 建	新潟大学大学院医歯学総合研究科附属腎研究施設機能制御学分野
5	血管新生におけるプレセニン1の機能解明	中島 光業	東京都老人総合研究所 分子老化
6	心臓循環器系におけるGタンパク質共役受容体とRhoGEFシグナルの解析	伊東 広	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科細胞内情報学講座
7	LOX-1の動脈硬化における病態生理学的意義の解明	沢村 達也	国立循環器病センター研究所 バイオサイエンス部
8	遺伝子破壊法によるネクローシスシグナル伝達遺伝子のクローニング	尾野 亘	国立循環器病センター研究所 疫学部栄養疫学研究室
9	血管内皮細胞由来microparticlesの血管内皮細胞障害血中マーカーとしての臨床有用性と動脈硬化症病因に於ける役割の検討	杉山 正悟	熊本大学医学部循環器内科

(2) 心臓・血管疾患の治療制御に関する研究

	研究テーマ	氏名	研究機関名
10	難治性自律神経失調症による重度の起立性低血圧を克服し、寝たきりを防止するバイオンック動脈圧反射装置の臨床開発	佐藤 隆幸	高知医科大学医学部医学科第2生理学(循環制御学)教室
11	胚性幹細胞(ES細胞)を用いた新しいin vitro 心血管分化系による網羅的心血管分化関連遺伝子の同定と心血管再生治療への応用	山下 潤	京都大学大学院医学研究科 分子遺伝学
12	バイオンックブレインによる急性心筋梗塞の画期的治療戦略の開発	川田 徹	国立循環器病センター研究所 循環動態機能部冠循環研究室
13	胚性幹細胞の試験管内分化系を用いた血管形成の細胞生物学的解析	小川 峰太郎	熊本大学発生医学研究センター 器官形成部門造血発生分野

平成13年度研究助成金贈呈者一覧

1. 生命科学関係 (28件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対しての生理活性を有する物質に関する研究

	課 題	主たる研究者名	所 属
1	キメラ型転写因子EWS-ATF 1の標的遺伝子産物の機能解析	中村 卓郎	(財)癌研究会癌研究所 発がん研究部
2	血中IL - 6およびTNF の除去によるカケクシアの治療を目指した標的結合プロテアーゼの分子デザイン	北川 雅敏	浜松医科大学医学部医学科 生化学第一講座
3	神経堤細胞に対するエンドセリン 3の分化・増殖制御機構	國貞 隆弘	岐阜大学医学部衛生学教室
4	レトロウイルス発現クローニング法を用いたSTAT6活性化抑制因子の単離とその臨床 応用へ向けての基礎的検討	中島 裕史	千葉大学医学部附属病院 第二内科 免疫アレルギー研究室
5	DNA複製期におけるクロマチン維持機能の解明—クロマチン構築因子CAF1の機能と生理的意義及びがん化との関連について—	柴原 慶一	京都大学ウイルス研究所生体応答学 研究部門 応答調節研究分野
6	ES細胞全能性維持を司る遺伝子のクローニング	奥田 晶彦	埼玉医科大学医学部 第2生化学教室
7	新しい生理活性物質としてのSHPS-1 リガンドの作用機構と臨床応用	的崎 尚	群馬大学生体調節研究所附属 生理活性物質センター
8	免疫不全を来すDNAメチル化酵素異常症 ICF症候群の分子病理	佐々木 裕之	国立遺伝学研究所 総合遺伝研究系人類遺伝研究部門
9	Wnt/Fz 伝達システムに関与する新しい癌化シグナル分子群の解析とその標的分子による癌治療の開発	田中 真二	九州大学大学院医学研究院 消化器 総合外科
10	新しい巨核球・血小板造血因子の遺伝子クローニング	宮川 義隆	慶応義塾大学 医学部 内科学教室
11	ヒストン脱アセチル化酵素Sir2 の哺乳類細胞における機能解析について	久原 真	札幌医科大学医学部 薬理学教室
12	悪性リンパ腫細胞における転移抑制遺伝子nm23-H 1の発現動態の解析	新津 望	北里大学医学部 内科学
13	Hodgkin 病の分子機構の解明とそれに基づくアデノウイルスを用いた分子標的遺伝子療法	堀江 良一	北里大学医学部 内科学

(2)免疫制御機構に関する研究(老化、免疫低下等を含む)

	課 題	主たる研究者名	所 属
14	T細胞受容体によるアロMHC抗体認識の分子機構	福井 宣規	九州大学生体防御医学研究所 個体機能制御学部門 免疫遺伝学分野
15	膠原病モデルマウスにおけるBリンパ球シグナル伝達異常の解析	藤本 学	国立国際医療センター研究所 細胞組織再生医学研究部
16	自己反応性T細胞の活性化を誘導する自己抗原分子修飾の解析	桑名 正隆	慶應義塾大学医学部先端医科学研究所 細胞情報研究部門
17	インターフェロンによる破骨細胞分化抑制機構の解明とロマチ骨破壊制御に関する研究	高柳 広	東京大学医学系研究科 免疫学講座
18	Fc受容体によるグリアの発達制御機構の解明	高井 俊行	東北大学加齢医学研究所 分化発達医学研究部門 遺伝子導入研究分野
19	補体制御因子欠損症としての発作性夜間血色素尿症の病態解析	井上 徳光	大阪府立成人病センター研究所 免疫学部門
20	NKT細胞の分化過程とNKT細胞特異的分化シグナルの研究	岩淵 和也	北海道大学遺伝子病制御研究所 病態研究部門 免疫応答分野
21	アイソタイプ特異的B細胞抗原受容体シグナルの研究	鐙田 武志	東京医科歯科大学難治疾患研究所 免疫疾患研究部門
22	新規サイトカインシグナル制御因子SPREDの作用機構と生理機能	吉村 昭彦	九州大学 生体防御医学研究所 免疫制御学分野
23	TNF/TNFRファミリーによるB細胞死制御	小端 哲二	獨協医科大学 医学総合研究所 免疫学
24	ヘルパーT細胞サブセットの分化系を用いた細胞分化メカニズムについての基礎研究	宮武 昌一郎	東京都医学研究機構 東京都臨床 医学総合研究所免疫研究部門
25	メモリーT細胞の誘導と維持を制御する機構の解析	村上 正晃	大阪大学大学院医学研究科 病理病態学講座
26	ホメオスターシス調節分子CTLA-4の発現誘導機構の解明	樽木 敏聡	慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室

27	BCL6ファミリーによるB細胞分化の制御機構	福田 哲也	東京医科歯科大学大学院 腫瘍制御学
28	CD4陽性ヘルパーT細胞により認識される上皮性癌抗原遺伝子の同定	原田 守	久留米大学医学部 免疫学部門

2.薬物科学関係 (15件)

(1)創薬の研究 (医薬品の開発 評価等を含む)

	課 題	主たる研究者名	所 属
1	レチノイド核内受容体特異的リガンド創製による抗リウマチ及び抗糖尿病薬の開発	影近 弘之	東京大学大学院薬学系研究科 薬化学教室
2	抑うつ症状をもたらさないインターフェロン療法の開発	西山 信好	東京大学大学院薬学系研究科 薬品作用学
3	新しい天然医薬素材からの抗腫瘍性新分子の探索	石橋 正己	千葉大学大学院薬学研究院 活性構造化学研究室
4	成長ホルモン分泌促進ペプチド“グレリン”内分泌および代謝性疾患治療への応用研究	児島 将康	久留米大学分子生命科学研究所 遺伝情報研究部門
5	抗血栓薬による脳出血のメカニズム解明と脳出血予防薬の開発	梅村 和夫	浜松医科大学 薬理学
6	核医学的手法による心機能評価 医薬品開発への応用	久下 裕司	北海道大学大学院医学研究科 トレーサ情報解析学講座
7	Gタンパク質共役型嗅覚受容体のリガンド探索及び構造活性相関	東原 和成	東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻 分子認識化学分野
8	メラニン凝集ホルモン(melanin-concentrating hormone : MCH)受容体のアゴニスト・アンタゴニストの探索及び開発研究	斎藤 祐見子	埼玉医科大学薬理学教室
9	Notch シグナルを修飾することによる免疫調節を行う新たな薬剤の開発研究	千葉 滋	東京大学医学部附属病院 無菌治療部
10	Vasopeptidase 阻害薬の心筋保護作用に関する基礎的研究 - Adrenomedullin のプレコンディショニング効果-	佐藤 俊明	千葉大学大学院医学研究院 薬理学
11	カプサイシン受容体を標的とした鎮痛薬の開発	富永 真琴	三重大学医学部生理学第一講座

12	除放射性一酸化窒素発生化合物の創製と血圧降下作用	大和田 智彦	東京大学大学院薬学系研究科 薬化学教室
----	--------------------------	--------	------------------------

(2)薬物送達の研究

	課 題	主たる研究者名	所 属
13	逆ヘキサゴナル液晶相の分散安定化による新規ドラッグキャリアの開発	中野 実	京都大学大学院薬学研究科 創薬科学専攻製剤機能解析学分野
14	血液網膜関門特異的輸送担体遺伝子の解析	細谷 健一	富山医科薬科大学 薬学部 薬剤学研究室
15	電気応答性薬物放出システムの構築と生体センサを組み合わせたコントロールド・リリースへの応用	柏木 良友	東北大学大学院薬学研究科 物性解析化学分野

3.情報科学関係 (19件)

(1)心臓・血管疾患の本態解明に関する研究

	課 題	主たる研究者名	所 属
1	心臓・大血管系の形成過程における受容体型チロシンキナーゼ Ror1,2 の機能解析 Ror1,2 の異常と心室中隔欠損、大血管完全転位との関連について	南 康博	神戸大学大学院医学系研究科 ゲノム科学講座ゲノム制御学分野
2	Rho1 Rho-キナーゼ経路を介した血管平滑筋収縮、及び血管再構築機構の解析	天野 睦紀	名古屋大学大学院医学研究科 細胞情報薬理学講座
3	マトリックスメタロプロテアーゼ(MMP-12)を過剰発現するトランスジェニックウサギモデルの開発 冠動脈硬化病変(プラーク)の安定化に及ぼすMMP-12の影響についての研究	范 江霖	筑波大学基礎医学系病理学
4	遺伝子操作による心臓のカテコラミン制御の研究	石川 義弘	横浜市立大学医学部生理学 第1講座
5	心筋梗塞の発症に関わるプロテインCインヒビターの分子病態学的研究	林 辰弥	三重大学医学部分子病態学講座
6	心筋細胞肥大における受容体活性化Ca ²⁺ チャネルTRP蛋白質の役割	佐藤 真司	九州大学生体防御医学研究所 細胞機能制御学部門 老化制御学分野
7	インスリン抵抗性に伴う血管内皮機能障害の分子機構の解明	篠崎 一哉	滋賀医科大学 薬理学教室

8	慢性心不全における微小心筋障害の検出	佐藤 幸人	京都大学大学院医学研究科 循環病態学
9	冠動脈硬化および動脈硬化巣の破綻における血小板の役割の検討	後藤 信哉	東海大学医学部循環器内科
10	インスリンおよびレプチン惹起血小板シグナル伝達機構の解明	小田 淳	北海道大学大学院医学研究科 予防医学講座 環境医学分野
11	粥状動脈硬化症の発症 進展におけるマクロファージの役割	堺 政和	熊本大学 医学部 代謝内科
12	心筋低酸素ストレスに応答するオーファン受容体の機能解明	水上 洋一	山口大学医学部器官制御 医科学講座
13	後期糖化反応生成物による動脈硬化症進展の分子機構の解明	山岸 昌一	久留米大学医学部 内分泌代謝内科学講座
14	血管平滑筋特異的 Gadd 153 過剰発現ラットの作製とその解析	大蔵 隆文	愛媛大学医学部 第2内科

(2)心臓・血管疾患の治療制御に関する研究

	課 題	主たる研究者名	所 属
15	移植腎の長期生着を目指した遺伝子治療法の開発	富田 奈留也	大阪大学医学部附属病院 総合診療部
16	新規 in vivo electroporation 法をもちいた心疾患に対する抗サイトカイン遺伝子治療法の確立	中野 敦	京都大学循環病態学心筋炎研究室
17	Sox 遺伝子F サブグループと血管新生	金井 正美	(財)東京都医学研究機構 東京都 臨床医学総合研究所超微形態
18	細胞周期制御系を分子標的とした新しい動脈硬化治療法の開発	平野 勝也	九州大学大学院医学研究院附属 心臓血管研究施設 分子細胞情報学部門
19	HGF 遺伝子導入による慢性腎疾患での腎再生療法の確立	水野 信哉	大阪大学医学系研究科組織 再生医学講座分子組織再生

研究助成金は1件100万円とする。

平成12年度贈呈者一覧

平成12年度研究助成金贈呈者

1. 生命科学関係 (24件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対しての生理活性を有する物質に関する研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	高頻度に標的組み換えを起こすニワトリBリンパ細胞株の相同DNA組み換え機構の解析とその性質のヒト細胞への移植の試み	武田 俊一	京都大学大学院医学研究科 放射線遺伝学教室 [P16]
2	誘導的活性型STATsによる造血幹細胞の増幅の試みとその分子機構の解析	松村 到	大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学研究部 [P18]
3	低分子量G蛋白質Racの肝細胞分化における役割	東 俊文	慶應義塾大学医学部 消化器内科学教室 [P21]
4	ガラクトース転移酵素遺伝子ノックアウトマウスを用いたセレクチンのリガンド糖鎖の機能解析	浅野 雅秀	金沢大学医学部附属 動物実験施設 [P23]
5	Two-hybrid法およびDNAchip解析による乳癌関連遺伝子の探索	三木 義男	癌研究会癌研究所 遺伝子診断研究部 [P26]
6	Forkhead転写因子FKHRL1の造血における機能解析	小松 則夫	自治医科大学血液学教室 [P28]
7	転写因子SREBPの新たな標的遺伝子の探索とプロモーター解析	酒井 寿郎	東北大学大学院医学研究科 病態制御学講座分子血管病態学 [P30]
8	プレセニンによるAβペプチド生成の分子機構解明	西村 正樹	滋賀医科大学分子神経科学研究センター [P33]
9	骨形成タンパク質の血球分化誘導活性を調節する遺伝子の単離と機能解析	鈴木 厚	広島大学大学院理学研究科 附属両生類研究施設 種形成機構研究部門 [P35]
10	脳神経発生における分泌性シグナル因子の役割	大隅 典子	東北大学大学院医学系研究科 器官構築学分野 [P37]
11	ヘルペスウイルスベクターと免疫抑制剤による悪性脳腫瘍の遺伝子治療	池田 圭朗	慶應義塾大学医学部脳神経外科 [P40]

(2)免疫制御機構に関する研究（老化、免疫低下等を含む）

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
12	NKT細胞による免疫調節機能の分子機構解析	清野研一郎	筑波大学臨床医学系外科学 (消化器) [P42]
13	ペプチド輸送の新経路を介した免疫制御の分子機構	小林 綾子	大阪大学大学院薬学研究科 分子生物学分野 [P44]
14	アレルギー発症を制御する2型ヘルパーT細胞の機能分化に関する研究	中山 俊憲	千葉大学大学院医学研究科 発生医学講座 [P47]
15	TNFにより誘導される抗アポトーシス遺伝子群の同定	中野 裕康	順天堂大学医学部免疫学教室 [P49]
16	インターロイキン-2受容体β鎖依存性にT細胞の活性化を制御する細胞の同定とその制御機構についての研究	鈴木 治彦	名古屋大学大学院医学研究科 微生物・免疫学講座 [P51]
17	サイトカインシグナル伝達系における細胞膜のコンパートメント化の役割・シグナルクロストークの場としての細胞膜ドメイン	高岡 晃教	東京大学大学院医学系研究科 医学部免疫学講座 [P54]
18	B細胞活性化におけるアダプター分子BLNKの機能発現メカニズム	石合 正道	関西医科大学附属肝臓研究所 分子遺伝学部門 [P57]
19	自然免疫による微生物認識応答反応の分子機構	牟田 達史	九州大学大学院医学研究院 分子細胞生化学分野 [P59]
20	老化を制御するシグナル伝達経路の解明	森口 徹生	東京大学分子細胞生物学研究所 分子情報研究分野 [P62]
21	IL-18による感染防御機構	善本 知広	兵庫医科大学免疫学・ 医動物学教室 [P64]
22	CD40遺伝子導入マウスを用いた末梢B細胞選択機構の解析	饗場 祐一	東京医科歯科大学難治疾患研 究所免疫疾患研究部門 [P66]
23	潜伏HIV再活性化シグナルによるCpG脱メチル化制御機構の解析	石田 尚臣	東京大学医科学研究所 癌・細胞増殖部門 人癌病因遺伝子分野 [P69]
24	NMR情報に基いた免疫グロブリンFc領域における蛋白質間相互作用メカニズムの解明と制御	加藤 晃一	東京大学大学院薬学系研究科 生命物理化学教室 [P71]

2. 薬物科学関係（13件）

(1) 創薬の研究（医薬品の開発・評価等を含む）

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	プロテインチロシンホスファターゼ1B阻害剤の開発研究	袖岡 幹子	東北大学反応化学研究所 有機反応設計研究分野 [P75]

2	インターフェロン感受性増強による新しい癌治療法	白鳥 義宗	岐阜大学医学部 内科学第一講座 [P78]
3	多剤耐性黄色ブドウ球菌感染症に対するファージ療法の開発	今井 章介	高知医科大学医学部 微生物学講座 [P80]
4	ピロールイミダゾールポリアミドによる特定遺伝子の発現制御に基づいたゲノム創薬	杉山 弘	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 機能分子部門分子設計 [P83]
5	キサンチンオキシダーゼ阻害活性を併せ持つ新規抗酸化剤の開発と創薬研究	増野 匡彦	共立薬科大学薬学部 有機薬化学教室 [P85]
6	運動による糖代謝活性化の分子メカニズムに基づいた新しい抗糖尿病剤の開発	林 達也	京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学講座 [P88]
7	ヘモジン合成阻害活性を指標とした抗マラリア物質の探索	高谷 芳明	名城大学薬学部 医薬資源化学研究室 [P90]
8	エストロゲン受容体の遺伝子発現制御機構解明およびその組織特異的共役因子探索に基づいた、既存のエストロゲン製剤を代替・補完する薬剤の検索	石橋 宰	新潟大学歯学部 歯科薬理学講座 [P93]
9	HergK ⁺ チャンネルの変異体におけるメタンсульホンアニリド化合物のトラッピングの異常について—より有用な第3群抗不整脈薬開発のために	石井 邦明	山形大学医学部 薬理学講座 [P96]
10	膵β細胞に作用するインスリン分泌促進薬のK _{ATP} チャンネル結合部位の同定、および薬剤特性の検討	長嶋 一昭	京都大学大学院医学研究科 臨床生体統御医学講座(病態代謝栄養学) [P98]

(2) 薬物送達の研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
11	人工遺伝子キャリアーを最適化する分子スクリーニングシステムの開発	原島 秀吉	北海道大学大学院薬学研究科 薬剤分子設計学分野 [P100]
12	腸管における水溶性ビタミン類の担体輸送系の機能解析：経口徐放剤設計への応用を目指して	湯浅 博昭	名古屋市立大学薬学部 薬剤学教室 [P103]
13	分子インプリント薄膜のゲート効果を利用した薬物送達システムの開発およびその原理の解明	吉見 靖男	芝浦工業大学工学部工業化学 科化学工学研究室 [P106]

3. 情報科学関係 (13件)

(1) 心臓・血管疾患の本態解明に関する研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	結合膜構造と心筋細胞収縮	竹島 浩	久留米大学分子生命科学研究 所 細胞工学研究部門 [P108]
2	心臓特異的ホメオボックス型転写因子Csx/Nkx2.5 に会合する転写因子の単離と機能解析	廣井 透雄	東京大学大学院医学系研究科 循環器内科 [P110]
3	心不全の原因遺伝子の解明	廣田 久雄	大阪大学大学院医学系研究科 分子病態内科学 [P113]
4	心筋症におけるphospholamban遺伝子変異の解 析	南沢 享	東京女子医科大学付属 日本心臓血圧研究所 循環器小児科 [P115]
5	血管特異的CCAAT/Enhancer-Binding Protein δ (C/EBP δ) トランスジェニックラットの作 製とその解析	北見 裕	愛媛大学医学部第二内科 [P117]
6	血管壁で産生されるPPAR γ リガンド15-deoxy- $\Delta^{12,14}$ -prostaglandin J2の生理学的役割と病態 への関与についての研究	笹栗 俊之	国立循環器病センター研究所 バイオサイエンス部 [P119]
7	血管内皮由来リパーゼ (EDL) の機能解析と動 脈硬化における意義	平田 健一	神戸大学医学部内科学 第一講座 [P122]
8	Tbx5遺伝子と左右心室決定メカニズムの解析 — Holt-Oram症候群の病態解明に向けて —	竹内 和子	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 動物代謝調節学講座 [P125]

(2) 心臓・血管疾患の治療制御に関する研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
9	心血管Tissue Engineeringを目指した再生心筋 細胞の開発	福田 恵一	慶応義塾大学医学部 心臓病先進治療学 [P128]
10	心筋線維化抑制による圧負荷肥大心の拡張能障害 進展予防 — TGF- β II型受容体-IgGキメラ遺伝 子導入による遺伝子治療 —	甲斐 久史	久留米大学附属循環器病研究 所 心血管リモデリング研究 部門 [P130]
11	アデノウイルスベクターを用いたPeroxisome proliferator-activated receptor (PPAR) - γ の 血管系における過剰発現：動脈硬化性血管病変制 御の試み	菅原 明	東北大学大学院医学系研究科 病態制御学講座分子血管病態 学分野 [P133]
12	循環器疾患における遺伝子治療の検討：臓器特異 的発現ベクターの開発	青木 元邦	大阪大学大学院医学系研究科 加齢医学講座 [P136]

2	アンジオテンシン受容体欠損・非欠損キメラマウスを用いた血管平滑筋細胞増殖機構の解明	松坂 泰二	東海大学総合医学研究所分子医学医療研究センター [P138]
---	---	-------	--------------------------------

※研究助成金は1件100万円とする。

平成11年度贈呈者一覧

平成11年度研究助成金贈呈者

1. 生命科学関係 (20件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対しての生理活性を有する物質に関する研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	転写因子の機能異常による白血病発症の分子機構	黒川 峰夫	東京大学 医学部 血液腫瘍内科 [P14]
2	JAB1、JAB2の生理機能と炎症性疾患治療への応用	安川 秀雄	久留米大学分子生命科学研究所 遺伝情報研究部門 [P16]
3	プロスタグランジンによる生殖生理の制御機構とその臨床応用に関する研究	杉本 幸彦	京都大学大学院薬学研究科 生命薬科学専攻 生体情報薬学講座 [P19]
4	免疫グロブリン遺伝子再構成によるリコンビナント・モノクローナル抗体の作製とその生物学的活性の評価及び治療への応用	赤水 尚史	京都大学医学研究科 病態医科学 [P21]
5	転写因子による造血幹細胞分化制御技術の開発	岡田 誠治	千葉大学大学院医学研究科 発生医学講座 分化制御学 [P24]
6	脊椎動物最初期体軸形成機構の解析	山中庸次郎	大阪大学大学院医学系研究科 バイオメディカル教育研究センター腫瘍病理 [P27]
7	ミリスチル化に依存したタンパク質間相互作用の機能構造の解析による脳の高次機能の分子機構の解明および臨床への応用研究	林 宣宏	藤田保健衛生大学総合医科学研究所 医高分子学部門 [P29]
8	新規サイトカイン候補分泌タンパク質・ESOP-1の機能解析およびESOP-1遺伝子欠損マウスの作製・解析	田代 啓	京都大学遺伝子実験施設 遺伝病解析分野 [P32]
9	新規骨代謝ホルモン(スタニオカルチン2)の機能解析と病態生理的役割の検討	石橋 賢一	自治医科大学 薬理学教室 [P34]

(2) 免疫制御機構に関する研究（老化、免疫低下等を含む）

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
10	抗原ペプチドスーパーアゴニスト同定法の開発とその応用	松下 祥	熊本大学大学院医学研究科 脳免疫統合科学系 免疫識別学講座 [P37]
11	Smad7トランスジェニックマウスを用いたTGF- β /Smad7の免疫系における役割の解析	中尾 篤人	順天堂大学医学部アトピー疾患研究センター 分子生物学研究室 [P39]
12	白血球接着分子L-セレクチンおよびCD44とコンドロイチン硫酸プロテオグリカン・パーシカンの結合と炎症細胞浸潤への関与	川島 博人	大阪大学大学院医学系研究科 バイオメデカル教育研究センター 臓器制御学研究部 [P41]
13	免疫抑制剤ラパマイシンの細胞内標的分子TORの活性制御機構	前田 達哉	東京大学分子細胞生物学研究所 生体超高分子研究分野 [P43]
14	好酸球性炎症におけるT細胞IL-5遺伝子転写亢進機序の解明 - アレルギ-の分子機構とその特異的制御	森 晶夫	国立相模原病院 臨床研究部 [P46]
15	IL-15トランスジェニックを用いた免疫記憶形成機構の解析	西村 仁志	名古屋大学医学部附属 病態制御研究施設 生体防御研究部門 [P48]
16	新たなCNファミリー因子Nrf3のリンパ球系細胞分化と大腸癌形成における機能	小林 聡	東北大学大学院医学研究科 医化学教室 [P50]
17	ゲノム情報を基盤とした機能型T細胞の分化決定機構の解析	久保 允人	東京理科大学生命科学研究所 免疫生物学部門 [P53]
18	がん抑制遺伝子産物Smad2の活性制御に関わるHgs：細胞増殖制御とがん化における役割	浅尾 裕信	東北大学大学院医学研究科 免疫学教室 [P55]
19	好酸球産生の転写調節機構	岩間 厚志	筑波大学 基礎医学系免疫学 [P57]
20	Th1細胞に特異的に発現するチロシンキナーゼTxkの免疫疾患における発現異常の解析とその是正	鈴木 登	聖マリアンナ医科大学 医学部（免疫学・病害動物学） [P60]

2. 薬物科学関係（12件）

(1) 創薬の研究（医薬品の開発・評価等を含む）

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	トランスジェニック動物を用いたエストロゲン受容体の機能解析とその創薬への応用	井上 聡	埼玉医科大学 第二生化学教室 [P62]

2	創薬と遺伝子改変動物を用いたNa ⁺ /Ca ²⁺ 交換輸送体の機能と病態の解明	岩本 隆宏	国立循環器病センター研究所 循環分子生理部 [P65]
3	K ATPチャネル欠損マウスを利用した新たな糖尿病治療薬の開発	三木 隆司	千葉大学大学院医学研究科 高次機能系統合機能学講座 分子機能制御学 [P68]
4	細胞応答を誘導する生理活性イノシトールリン脂質とその代謝酵素阻害剤の合成	白井 隆一	東京大学分子細胞生物学研究所 生体有機化学研究分野 [P70]
5	転写因子の活性化制御を目指した新規合成ペプチドの創製と効率的細胞内導入	二木 史朗	京都大学化学研究所 生体反応設計研究部門Ⅱ [P72]
6	DNA複製・修復システム特異的な選択的調節物質の探索および分子設計による医薬品開発	水品 善之	東京理科大学 理工学部 応用生物科学科 坂口研究室 [P75]
7	急性骨髄性白血病の発生・進展に関与する変異FLT3分子を標的とした新化学療法剤の開発	清井 仁	名古屋大学医学部附属病院 難治感染症部 [P78]
8	薬物代謝阻害に基づく薬物間相互作用の適量的予測 - 阻害様式を考慮した予測方法の確立をめざして -	伊藤 清美	北里大学 薬学部 薬剤学教室 [P80]
9	糖の環変換に基づく生物活性物質の合成	高橋 秀依	帝京大学 薬学部 薬品製造化学教室 [P83]

(2) 薬物送達の研究

No	課 題	主たる研究者名	所 属
10	カニクイザルを用いた造血幹細胞遺伝子導入法の研究	花園 豊	自治医科大学 分子病態治療 研究センター 遺伝子治療研究部 [P85]
11	遺伝子治療用インテリジェント・リポソームシステムの開発	柳衛 宏宣	東京大学医科学研究所 外科 [P87]
12	胎盤関門における薬物透過機構の解明、および胎児への薬物デリバリーシステム開発の基礎検討	宇都口直樹	昭和薬科大学 薬剤学研究室 [P90]

3. 情報科学関係 (10件)

(1) 心臓・血管疾患の本態解明に関する研究

No	課 題	主たる研究者名	所 属
1	エンドトキシン刺激に対する血管内皮細胞の形態変化メカニズムの解明 - 超音波顕微鏡による細胞の粘弾性変化の計測 -	西條 芳文	東北大学加齢医学研究所 病態計測制御研究分野 [P92]

2	虚血性心疾患における血管拡張性物質の転写調節機構の解析	高橋 和広	東北大学大学院医学系研究科 医学生物化学講座 分子生物学分野 [P95]
3	血管内皮細胞上Fasリガンドの動脈硬化形成過程における役割の検討 -Fasリガンド欠損ならびに恒常発現マウスの作製ならびにマウス動脈硬化症モデルを用いての解析	佐田 政隆	東京大学大学院医学系研究科 循環器内科 [P97]
4	プロスタノイド受容体欠損マウスを用いた心筋の虚血・再灌流障害の発症機構とその制御に関する研究	原 明義	旭川医科大学 医学部 薬理学講座 [P100]
5	転写統合装置、とくにそのアセチル化酵素活性からの動脈硬化症へのアプローチ	中島 利博	筑波大学 応用生物化学系 [P103]
6	血管内皮機能よりみた肺高血圧症の発症機構に関する研究	大池 正宏	九州大学大学院医学系研究科 生体情報薬理学教室 [P105]
7	血管平滑筋トーン制御における新しいシグナル伝達の解析と病態におけるその異常	伊藤 正明	三重大学医学部附属病院 第一内科 [P108]

(2) 心臓・血管疾患の治療制御に関する研究

No	課 題	主たる研究者名	所 属
8	自己培養細胞と生分解吸収性ポリマー導管を応用した組織工学による血管の作製および臨床応用	新岡 俊治	東京女子医科大学附属日本心臓血圧研究所 循環器小児科外科 [P111]
9	脳虚血による神経細胞死を救う試み	玉谷実智夫	大阪大学大学院医学系研究科 機能形態学講座 [P113]
10	動脈硬化の抗MCP-1遺伝子治療法の開発 -変異型MCP-1遺伝子導入による病態解析と遺伝子治療法	江頭 健輔	九州大学 医学部 循環器内科 [P116]

※研究助成金は1件100万円とする。